

米国環境保護庁
ワシントン. D.C.20460

大気放射局

2017年10月24日

ENERGY STAR® テレビジョン パートナー関係各位

ENERGY STAR テレビジョン適合基準バージョン 8.0 最終草案を公表以来、米国環境保護庁(EPA)は関係者と自動明るさ調節(ABC)に対処するための提案に関する重要な追加の関与をし、消費者の節約と製造事業者の設計を革新する自由の維持との両方を確実にすることを目標としている。結果として、EPA は関係者意見と一致する改善点を反映している最新の適合基準バージョン 8.0 最終草案を公表する。本 ENERGY STAR TV 適合基準の発効予定日は 2018 年 7 月 1 日である。

7月の最終草案公表後、関係者は初期設定にて ABC が有効化されている適合 TV の EPA の輝度要件に関する 2 つの懸念事項および、プロジェクターを対象範囲に含めることに関する質問を提起した。応じて、EPA は提案された要件を次の通り最新のものにした。本適合基準バージョン 8.0 最終草案改訂版は 2017 年 7 月 18 日に配布された最終草案と一致するが、次の変更点を除く：

●**除外製品の明確化**：関係者からの質問に基づき、EPA はプロジェクター製品を除外製品機種として具体的に示した。

●**平均画面輝度**：関係者は言及した、要件である室内照度が 3、12、35、および 100lux における平均画面輝度は選択可能な最も明るい既定画像設定輝度の 50%であることは、最大画面輝度が高い TV に関する消費者嗜好としては明るすぎる画面輝度となる。TV が明るすぎて出荷されるような意図しないシナリオを避けるために、EPA は第 3.6.3 節に次の文節を追加する、「製品が初期設定にて ABC が有効化されているオンモード要件に適合し、選択可能な最も明るい既定画像設定輝度が 300cd/m²以上であるとき、ABC が有効化されていて、照度条件が 3、12、35、および 100lux における平均輝度は 150cd/m²以上であること。」

●**3lux における輝度**：3 つの製造事業者は、3lux における画面輝度が 125cd/m²とする EPA の要件は依然として明るすぎると言及し、それは暗室視聴条件における画面の明るさが 150cd/m²のときの消費者嗜好に関する ISF の調査結果と異なる。EPA はその後、画面輝度 100cd/m²を必要とする HDTV 上のコンテンツ編集用 SMPTE ST 2080 規格を認識した。暗室視聴の適切な明るさに関する業界全体の合意が存在しないため、および追加の判断基準を与えられ、EPA は 3lux における輝度の要件を 100cd/m²以上に下げる。

関係者はテレビジョン適合基準バージョン 8.0 に対する最終意見を **2017 年 11 月 7 日火曜日までに**提出すること。意見は e メールにて televisions@energystar.gov 宛に送付すること。寄せられた全ての意見は、自身の意見について提出者からの守秘要請がない限り ENERGY STAR TV 基準策定(Product Development)ウェブサイトに掲載される。

EPA と産業およびその他関係者との間の考えおよび情報交換は ENERGY STAR 成功にとって重要である。

EPA の ENERGY STAR テレビジョン基準改定に関する進捗および寄せられた意見を確認するには、基準策定(Product Development)ウェブサイト www.energystar.gov/RevisedSpecs の「Televisions」内「Under Revision」内「Version 8.0 is in development」をクリックすること。

適合基準草案のレビューに感謝します。

質問もしくは懸念に関しては、私 Radulovic.Verena@epa.gov または (202) 343-9845 、

ENERGY STAR 適合製品の試験方法に関する質問は、Jeremy Dommu Jeremy.Dommu@ee.doe.gov または (202) 586-9870 に連絡のこと。

Best Regards,

Verena Radulovic, Product Manager

ENERGY STAR for Consumer Electronics

別添資料:

ENERGY STAR テレビジョン製品基準 バージョン 8.0 最終草案改訂版

バージョン 8.0 最終草案に関する意見回答書(Comment Response Document)